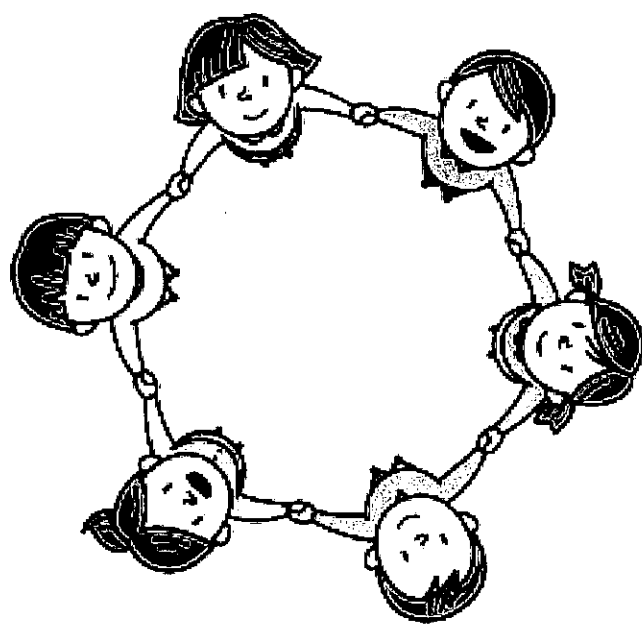


平成27年度
親子ふれあいデー活動
(まとめ)



熊本県PTA連合会

平成27年度 親子ふれあいデー活動

目次

☆平成27年度親子ふれあいデー活動委嘱校

☆平成27年度委嘱校活動報告

1. 有明小学校PTA	1
2. 荒尾第四中学校保護者と教師の会	2
3. 石貫小学校PTA	3
4. 八嘉小学校PTA	4
5. 平小城小学校PTA	5
6. 西合志南中学校PTA	6
7. 大津東小学校PTA	7
8. 菊陽中部小学校PTA	8
9. 広安小学校PTA	9
10. 木倉小学校PTA	10
11. 七滝中央小学校PTA	11
12. 御岳小学校PTA	12
13. 潤徳小学校PTA	13
14. 不知火小学校PTA	14
15. 中南小学校PTA	15
16. 本渡東小学校PTA	16
17. 昭和小学校PTA	17
18. 西瀬小学校PTA	18

平成27年度親子ふれあいデー活動委嘱校

	ブロック	エリア	単位PTA名
1	県北	荒尾市	有明小学校PTA
2		荒尾市	荒尾第四中学校保護者と教師の会
3		玉名市	石貫小学校PTA
4		玉名市	八嘉小学校PTA
5		山鹿市	平小城小学校PTA
6		合志市	西合志南中学校PTA
7		菊池郡	大津東小学校PTA
8		菊池郡	菊陽中部小学校PTA
9		上益城郡	広安小学校PTA
10		上益城郡	木倉小学校PTA
11		上益城郡	七滝中央小学校PTA
12		上益城郡	御岳小学校PTA
13		上益城郡	潤徳小学校PTA
14	県南	宇城市・ 下益城郡	不知火小学校PTA
15		上天草市	中南小学校PTA
16		天草郡市	本渡東小学校PTA
17		八代郡市	昭和小学校PTA
18		人吉市	西瀬小学校PTA

親子ふれあいデー活動報告書

平成27年度

単位PTA名 (<u>荒尾市立有明小学校</u>)		児童生徒数 (<u>150</u>) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P <u>20,000円</u> 単P その他	(支出)	・イベント経費 <u>13,365円</u> ・消耗品代 <u>6,635円</u>
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
・読み聞かせ ・学年活動		・人権講演会 ・有明ふれあいフェスタ	
◎成果			
色々な活動をおこなって、親子のコミュニケーションと保護者の親睦を深めると学校、地域の方々、保護者の交流をすこやかにできました。活動にも、保護者、地域の方々も協力的で良い活動がすこやかにできました。			
◎反省			
・有明ふれあいフェスタの食品バザーでのアレルギー対応が十分にすこやかにできなかった。			
3. 今後の取り組みについて			
・有明ふれあいフェスタの食品バザーでのアレルギー対応について ・今後も学校、地域の方々、保護者の交流を深めていきたい。			
4. 要望・その他			

親子ふれあいデー報告書

平成 27 年度

単位PTA名（荒尾第四中学校保護者と教師の会） 児童生徒数（ 294 ）人	
1 予算執行状況（収入・支出）	
（収入） 県P ￥20,000	（支出） ￥20,000 花の苗・豚汁材料 読み聞かせ 保護者用絵本
2 活動内容・成果・反省	
◎活動内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・親睦花の植替え ・文化祭バザー ・教育講演会 	<ul style="list-style-type: none"> ・豚汁づくり（競歩会） ・読み聞かせ
◎成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・親睦花の植替え・・・親子で土にふれあい、学校を花いっぱいにすることができた。 ・文化祭バザー・・・地域の方の協力もあり、無事に終えることができた。物品・食品バザーも毎年好評である。 ・豚汁づくり・・・12月に小岱山頂上往復12kmを走る強歩会。最後まであきらめずにゴールした後にふるまう豚汁提供は子どもの笑顔が見られる最高の場であり、保護者のつながりも深まる大切な行事である。 ・読み聞かせ・・・朝の15分という限られた時間ではあるが、この大切な時間を共有することで、より親密な人間関係を築くことができている。 	
◎反省	
昨年度の反省を引き継ぎ、今年度はスムーズに取り組むことができた。保護者の参加も年々増えている。	
3 今後の取り組みについて	
現在行っている活動をマンネリ化させることなく、新たなアイデアも入れつつ継続させていきたい。	
4 要望・その他	
活動資金をいただいたことにより、活動がしやすくなった。また、他校と活動内容の情報交換をすることによって、今後の活動への視野が広がった。	

親子ふれあいデー活動報告書

平成27年度

単位 PTA 名 (玉名市立石貫小学校)	児童生徒数 (61) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円 単P その他	(支出) 石貫探検ウォークラリー 3,558円 ふれあい暦材料 6,442円 親子作業材料等 10,000円
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 石貫探検ウォークラリーを行い、校区の史跡や自然を親子で学び、地域の方々との交流を図り、親子で地域のことを知る機会となった。 親子PTA行事、親子作業(年2回)を行い、自分たちの学校を自分たちの手で美しくすることができた。また、PTA資源回収も親子で行い、資源の有効活用や環境保全への意識を高めることができた。 「春の石貫祭」では、全校児童で学校の前の錦川で魚取りを楽しみ、「秋の石貫祭」では、地域の方々とのふれあいとして1～3年が伝承遊び、4～5年がもちつき(収穫祭)、6年が豚汁作りを行った。 性教育の授業参観(12月5日)の日に親子講演会を行った。「子どものいのちありがとう」と題してNPO法人「命をつなぐ会」代表の高濱伸一先生の講話を親子で聞いた。 毎月第3日曜日は、「家族ふれあいデー」として、お手伝い、遊び、読書など家族でふれあいの時間をつくり、ノーテレビ・ゲームに挑戦する日とした。 	
<p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 石貫探検ウォークラリーでは、地域のことを初めて知ったという声が児童からも保護者からも多数あった。保護者や地域の方々の協力のおかげで行うことができた。 親子作業では、除草作業を始め、畑の片づけ、窓ふきなどを行いみんなで学校をきれいにすることができた。 石貫祭では、午前中は、地域の方々とのふれあいを児童は大変喜んでいて、また、昼食は、6年生が作った豚汁とおにぎり弁当を親子で食べ、午後は、親子ふれあいドッチボールを楽しんだ。 親子で同じ話を聞く講演会は、大変好評であった。その後の家庭での話題にもなった。 	
<p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> どの活動も計画と準備に時間がかかるものが多かった。特に、石貫探検ウォークラリーと石貫祭については、地域の方々とPTAとの連携が必要である。 	
3. 今後の取組について	
<ul style="list-style-type: none"> どの活動においても、児童の笑顔がたくさん見られた。ふれあい活動は、今後も大切にしていきたい。 	
4. 要望・その他	
<ul style="list-style-type: none"> 助成金でいろいろなふれあい活動ができました。大変、ありがとうございました。 	

親子ふれあいデー活動報告書

平成27年度

単位PTA名 (玉名市立八嘉小学校)	児童生徒数 (162) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円	(支出) PTA教育講演会謝礼他 20,000円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 平成27年度八嘉小学校PTA教育講演会 「誰にでもできる防災～東日本大震災から学ぼう～」 期日：平成27年12月11日(金)午後3時～午後4時 場所：八嘉小体育館 内容：東日本大震災の被災体験、和水町に移住し地域おこし協力隊として活動して学んだこと、男女共同参画推進委員になり気づいたことなどを教訓に、女性、ママ目線でのお話をされていました。	
◎成果 ① 授業参観と同一日に実施したことで、児童全員と全職員、多くの保護者が講演を聞くことができた。内容についても親子で共通の話題ができ、防災に関する意識を高めるきっかけとなった。 ② 講演の内容が、避難方法や避難準備等にとどまらず避難生活の様子まで触れてあったので、日常的な食生活の大事さ(偏食していたら生きられない等)から地域における人のつながりの大切さ(お互いを知り協力する)まで考えることができた。震災を通してそれぞれが日常生活を見直すことができた。特に、「ふれあい」や「つながり」がキーワードとなったことが大きい。	
◎反省 ○時間が限られていたので、講演者の思いを伝えるのに十分な時間となり得なかった。低学年にとっては、反対に時間が長すぎたようだ。時間の調整が難しいので、次年度は打合せを入念にしておく必要がある。	
3. 今後の取り組みについて	
講演会だけでなく、「親子のふれあい」をキーワードにした取組を企画していきたい。特に次年度は、学級レクレーション等でも内容を充実したものとするための手立てを検討したい。具体的には、これまで実施した内容を一覧表にまとめ、情報提供し、話し合いの時の参考になるようにしていく。	
4. 要望・その他	
○親子ふれあいデーの助成金は大変貴重で助かった。また、中間報告会での情報交換もとても意義あるもので、その後のPTA活動の参考になるものだったので、継続していただくとありがたい。ものすごく立派な取組でなくてもいいと安心し、「これならやれそうだ。」とモチベーションがアップするような会だった。本年度は対象校の18校にあたったが、できれば来年度も希望したいところである。	

単位 PTA 名 (山鹿市立平小城小学校)	児童生徒数 (51) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円 (支出) 20,000円 ・PTA 講演会の講師謝金等 ・元Jリーガーの卒業生によるサッカー教室開催の諸経費等	
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容	
(1) 毎週水曜日は「ふれあいの日」としてテレビやゲームを消して過ごすことで家庭でのふれあいを深めた。 ・振り返りカードを利用して、親子でチェックし、どんな取組をしているかを紹介しあった。 (2) PTA講演会を開催した。 ・「スマホ・ケータイ安全教室」NTTdocomo インストラクター田上一美様 ・「しつけに活かそう、子どもの視点」Cスマイル代表 富永智子様 (3) 校区と合同で開催される「ふれあい祭り」に参加し、校区民や家族との絆を深め、地域の活性化に努めた。 ・元Jリーガーの卒業生(現在徳島ボルティス職員)によるサッカー教室と講話の企画も取り入れた。 (4) 全保護者による給食試食会 ・親子のふれあいと食育の機会として企画した。 (5) 育成会行事の実施 ・保護者や地域の協力を得ながら、全校児童で久住登山を実施し、心身の鍛錬を図った。 ・ナイトハイクを企画し、卒業生や地域との交流も深めた。 ・地域の野山を駆け回る、お別れハイクを実施した。班別にオリエンテーリング形式で行動し、各ポイントに昔遊びなどを企画した。	
◎成果	
・ふれあいデーを実施することで、テレビやゲームにとらわれない時間を過ごし家族のふれあいを育んだ。また、親子で携帯電話等の使用について研修することで、ふれあいデー、チャレンジカードの提出率の向上などがみられ、取組の意識を高めることができた。 ・講演会や試食会、育成会などの行事を通して保護者や地域の繋がりが深まり、地域で協力して子育てをする雰囲気が醸成された。 ・体験活動など、地域に慣れ親しむ事で、郷土愛を育むことができた。	
◎反省	
・様々な取組に対して消極的な家庭は固定化されている。しかし、少しずつ地域や学校に溶け込まれ参加意識が高くなっていることを感じる。今後、継続して参加しやすい活動となるような雰囲気づくりが必要である。 ・マンネリ化する企画に対し、興味関心を高める工夫を毎年取り入れ、様々な人が企画に参加していく必要がある。	
3. 今後の取組について	
・今後も同じような内容で取組を継続していく。 ・PTA新聞等を通して、実施した企画や内容を全保護者に広げていく。	
4. 要望・その他	
特になし。	

親子ふれあいデー活動報告書

平成27年度

単位PTA名 (合志市立西合志南中学校PTA)	児童生徒数 (818) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円 単P 14,011円 その他	(支出) 34,011円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容	
☆門松づくり ☆ミニ門松づくり体験 ☆ぜんざい・豚汁会食	
◎成果	
<p>門松づくりは、伝統的な行事として父親委員と執行部で行っています。 ミニ門松づくりは、門松づくりとともに、新年が迎えられるよう希望を込めて子どもたちと保護者で毎年行っています。 例年当日の早朝に竹伐り等の材料集めを行っていますが、今回は前日に行いました。 正門に飾る門松をつくるチームと、ミニ門松を準備するチーム、ぜんざい・豚汁を準備するチームに分担し作業したことでスムーズに展開できました。 ぜんざい・豚汁合わせて400食を準備し完食しました。</p>	
◎反省	
<p>ミニ門松で使用する真竹のサイズが大きかったため、準備に時間がかかりサイズも揃いませんでした。 また、参加者の人数を把握できなかったのが数少し足りませんでした。 校区内である西合志南小学校と西合志東小学校と本校の3校合同で門松づくりを行う予定でしたが、事前連絡が遅れ西合志東小学校と本校の2校で行うことになりました。 次回は早めに連絡を取り合い、3校合同で行いたいです。</p>	
3. 今後の取り組みについて	
<p>真竹を使っていますが、来年からは準備のしやすい矢竹に変更するようにしました。 事前に参加人数の把握や、改善点を見つけるためにもアンケートなどで参加者から意見を聞きくよう取り組みます。</p>	
4. 要望・その他	

親子ふれあいデー活動報告書

平成27年度

単位PTA名(大津町立大津東小学校)		児童生徒数(44)人	
1. 予算執行状況(収入・支出)			
(収入)	県P	¥20,000	(支出)
	単P	¥9,109	体験(お茶、お菓子)
	その他		豚汁材料
			もちつき材料
		¥29,109	¥6,199
			¥14,342
			¥8,568
			¥29,109
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
学年別親子レクリエーション			
伝統芸能(牛舞い)の復活			
・地域の保存会の指導で、横笛や三味線を練習し肥後にわかに挑戦しました。			
どんどや(1/10)			
・今年で2回目となり、甘酒やぜんざいを振る舞い、かるた大会や綱引きもしました。			
親子ふれあいフェスタ(2/6)			
・茶道体験 : 茶道経験をお持ちの先生にご指導頂き、子どもが立てたお茶やお菓子を保護者や先生、子ども達同士で頂きました。なかなか出来ない体験でした。			
・餅つき : 5年生の親子が主になり、父親と火おこしや杵で餅つき体験をしたり、母親やおばあちゃん地域の方と餅をまるめました。出来た餅を一人暮らしの方に民生委員さんと配りました。			
・豚汁作り : 6年生の親子で300食程作り、昼食として参加者全員で出来たての豚汁とお餅を美味しく頂きました。			
◎成果			
小人数校なので、全家族と地域の方の協力がなくては何も出来ませんが、ふれあいある交流が出来た。			
茶道体験により、初めてのお茶の味と親子でマナーを学びいい経験となった。			
牛舞でも、普段使わない楽器に触れることが出来、子供の新たな才能が見れた。			
◎反省			
本年度は、ふれあいフェスタと学習発表会と同日に行った為、時間の都合で例年呼んでいた大津中吹奏楽部をよべなく、残念だった。			
又、ふれあいフェスタ開催の時期をインフルエンザの流行する前の秋にした方がよかった。			
3. 今後の取り組みについて			
これまでの伝統的な行事と、新しいふれあいのスタイルを融合しながら子どもたちが楽しいと思える様に地域と共に活動を続けていきたい。			
4. 要望・その他			
ここ数年参加させていただいていますが、中間報告会で他校の様々な取り組みを聞き参考になりました。これから益々、親子・学校・地域のふれあいの場を深めていけたらと感じました。			

親子ふれあいデー活動報告書

平成27年度

単位PTA名 (菊陽町立菊陽中部小学校)		児童生徒数 (805) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P	20000	(支出) 竹馬 6組
	単P	13466	
	計	<u>33466</u>	老人会へ
			計
			<u>12958</u>
			<u>33466</u>
その他			
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容「昔遊び大会」			
・達人芸 (ちょんかけごま・ナンキンタマスタレ)			
・竹とんぼ、けん玉、めんこ、おりがみ、おてだま、ゴムとび、あやとり、たこあげ、紙ひこうき			
※保護者や老人会との交流をふかめた。			
・希望者のみで紙ひこうきの飛ばし大会をした。			
※参加者全員に参加賞			
◎成果			
現代のゲーム世代の子供たちにとって、昔遊びにふれる機会がなかなかないので、老人会の方に、教えてもらうことで、昔ながらのおもちゃの楽しさや良さを再発見することができた。			
◎反省			
今年もインフルエンザの流行で実施できるか心配されました。今後は、時期を検討していきたい。			
3. 今後の取り組みについて			
・二学期実施を考えている。			
4. 要望・その他			
遅れてすみませんでした。よろしくお願いします。			

親子ふれあいデー活動報告書

平成27年度

単位PTA名 (益城町立広安小学校 PTA)		児童数(675)人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P	20,000円	(支出) 伝承遊び諸費 95,000円
	単P	180,000円	豚汁炊出し諸費 55,000円
			事務費 50,000円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
<p>12月13日(日)「広安フェスタ」開催。午前の部は学校主催の学習発表会、午後の部はPTA主催で、24種類の伝承遊びの活動を行った。老盛会・地域の方々に協力していただき、児童・保護者・教師共に昔の遊びに触れたり、物を作ったりして楽しんだ。昼食には、フェスタ委員とボランティアによる豚汁の炊き出しを行い、参加者全員に振る舞った。</p>			
◎成果			
<p>指導者の方々や子ども達にアンケートを実施し、伝承遊びの活動が親子間、地域の方々との交流を深めることができたことを実感した。以下、アンケートより抜粋</p> <p>☆絵手紙を体験し、とても楽しめた。家でも作成しておばあちゃんへ送りたい(5年生女子)</p> <p>☆たこを作って早く空へ飛ばしたい気持ちが我慢できませんでした(1年生女子)</p> <p>☆「先生が小学生の時、竹鉄砲で遊んでとても楽しかった」と言われましたが、その時の楽しさが僕にもわかりました(6年生男子)</p>			
◎反省			
<p>本年度は12月に開催が延期された為、寒さ対策として活動を室内にしたが、予想と反して、天候に恵まれて活動は楽しめたが、当日急な活動場所の変更が対応できなかった。</p>			
3. 今後の取り組みについて			
<p>児童数の増加と共に活動の規模も大きくなっており、続けていくためにはさらにPTA(フェスタ委員会)の結束力と、保護者ひとりひとりの主体性が必要だと思う。今後も意見交流の場を設けたり、地域・学校と連携を取りながら、心のきづなを深めていけるようにしたいと思う。</p>			
4. 要望・その他			
<p>中間報告会での他校の取り組み、そして意見交流はたいへん刺激になり参考になりました。たいへんありがとうございました。</p>			

親子ふれあいデー活動報告書

平成27年度

単位PTA名 (御船町立木倉小学校)	児童生徒数 (123) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円 単P 0円 その他	(支出) 20,000円 12/6親子もちつき会の 餅米代等を購入。
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 (主な活動) (1) 夏休みに「親子除草作業 (校庭)」, 資源物回収作業を実施した。 (2) 11月に「きのくらまつり (公民館まつり)」に親子で参加した。 (3) 12月に各学年毎に親子で「もちつき会」を開催した。	
◎成果 活動内容の(1)～(3)については、保護者の参加率は90%を超えていて、とても高い。PTA活動への関心の高さと学校教育や地域行事に対して、大変協力的である。どの活動も親子で力を合わせて取り組む姿が見られ、充実した親子の触れ合い活動ができた。	
◎反省 PTA活動に参加しない保護者は、いつも限定される。その方々をどのようにして巻き込むかが課題である。また、各活動がマンネリ化しないよう創意工夫を凝らした内容にしていくことが必要である。各活動の反省を次回に生かすようにしていきたい。	
3. 今後の取り組みについて	
本校PTAの特徴は、「地域密着型」である。各活動が保護者のみの活動ではなく、地域住民や諸団体の協力を得ながら行われている。『地域の子どもは地域で育てる』『木倉の子ども達のために・・・』を合い言葉に、今後もPTAが学校の先生方、地域住民と連携を密にして取り組んでいきたい。	
4. 要望・その他	
このような助成金事業に大変感謝をしています。本校PTAの会員数がここ数年横ばい、もしくは減少している中で、保護者が負担する会費は据え置きをしています。 親子が触れ合うPTA活動の有用性は高いので、それを充実させるために助成金を有効に使わせていただきました。今後も継続して欲しい事業です。	

親子ふれあいデー活動報告書

平成27年度

単位PTA名 (御船町立七滝中央小学校)		児童生徒数 (83) 人	
1 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P	20,000 円	(支出) バーベキュー材料費 81,720 円
	単P	1,220 円	(肉、野菜、焼そば材料、炭 etc)
	参加費	60,500 円	
		<u>81,720 円</u>	
2 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
(1) 学年親子レクリエーション			
1年生【親子バーベキュー、草スキー】 2年生【恐竜消しゴムづくり】			
3年生【アイスクリームづくり】 4年生【競技射撃体験】			
5年生【親子ふれあい活動】 6年生【学年キャンプ】			
(2) 第1回 親子美化作業&親睦ビーチボールバレー大会【5/31】			
① 親子で校庭、運動場、茶畑につながる斜面の除草作業を実施した。			
② 学年対抗ビーチボールバレー大会を開催した。			
(3) 第2回 親子美化作業&親子ふれあいデー活動【8/23】			
① 親子で校庭、運動場、学級園の除草、校舎内の窓ふきを行った。			
② 有価資源物の回収作業を行った。			
③ 作業後に、バーベキュー大会を行った。			
◎成果			
(1) PTA学級委員が内容を計画し、保護者、児童、教職員が親睦を図ることができた。			
(2) 学年対抗の球技大会と合わせて美化作業を行ったことで、参加率を高めることができた。保護者の親睦は町の球技大会にもつながっている。			
(3) 地域の方の資源物回収への協力が多く、快晴の中で作業と親睦バーベキューができた。予想以上の参加者で大成功に終わった。			
◎反省			
共通している課題は、PTA活動に積極的に参画する保護者を1人でも増やしていくことである。参加したい企画、マンネリ化しない工夫が必要である。			
3 今後の取り組みについて			
美化作業は、児童、保護者、教職員が、自分たちの学校を自分たちの手で美しくしていく、という意識を高めるためにもさらに参加率を高めていきたい。作業とレクリエーションをタイアップした企画を今後も検討していく予定である。			
特に、全面芝生の運動場、茶畑を有する本校では、機械による除草作業が不可欠である。機械操作ができる父親の参加率アップが今後の課題である。			
4 要望その他			
助成金事業は、規模の小さい本校のPTAにとって、大変貴重です。親子がふれあうPTA活動は、保護者同士の関係性を深めるのに効果的であると感じています。ぜひ今後も取り組みの継続をお願いいたします。			

親子ふれあいデー活動報告書

平成27年度

単位PTA名 (山都町立御岳小学校)	児童生徒数 (38) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20000円 単P その他	(支出) 20000円 ふれあいの集い活動費
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 ・ふれあいの集い「川遊び」 ・みたけの祭り「伝承遊び」 ・米作り活動～田植えから餅つきまで～	
◎成果 どの行事も好天に恵まれ、PTAはもちろん自治振興区や校区公民館の協力を得、楽しく安全に活動をすることができた。特に「伝承遊び」は地域の祭り「みたけ祭り」の場で行ったので、PTA会員だけでなく地域の方々の協力を仰ぎ活動することができた。 また、本年度は、PTA組織を改正し、米作りの活動の中心となるPTA事業部の人数を増やし活動を分担できるようにした。田植え、餅つきなどの行事では例年を上回る参加者で盛会のうちに終わった。	
◎反省 餅つきでは、事前の会議をもとに準備を行ったが、直前になって変更点があり慌てたところもあった。今年度の反省点を記録に残し、来年度スムーズに取り組めるようにしたい。	
3. 今後の取り組みについて	
各種団体と協力して行う世代間事業は、「みんなが楽しく健康な御岳にしよう」を合い言葉に有意義な活動を続けている。今後も、改善しながら取組を進めていきたい。	
4. 要望・その他	
今回初めて「親子ふれあいデー活動」の委嘱を受け報告会に参加しましたが、他校の方々との意見交流はたいへん刺激になりました。有意義な時間を過ごさせて頂きました。これからのPTA活動に生かしたいと思えます。	

親子ふれあいデー活動報告書

平成27年度

単位PTA名 (山都町立潤徳小学校)		児童生徒数 (64) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P	20,000円	(支出) 20,000円
	単P	0円	※田植え、稲刈り、脱穀の際の饅頭代
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
(1) 田植え			
<p>今年の田植えは、悪天候により、二度延期され、6月10日(水)に実施した。苗の世話や田おこしは、PTAの役員を中心に世話をを行った。</p> <p>今回は、学校のみで実施することとしたが、子どもたちが田植えをしている様子をご覧になられた地域の老人会の方が駆けつけていただき、手伝って下さった。子どもたちは、土の感触に肌でふれ、歓声をあげつつも一本一本丁寧に植えていた。</p>			
(2) 稲刈り			
<p>10月14日(水)、曇一つない晴天のもと、子どもたちは慣れない手つきで苦勞しながら地域の方たちと協力して稲を刈っていた。PTAをはじめ、地域の老人会、公民館関係者等、多数の方々の協力を得て、刈った稲は、掛け干しにした。今は、ほとんど掛け干しはされておらず、掛け干しの仕方については、老人会の方々の指導を受けて無事に終えることができた。</p> <p>また、「親子ふれあいデー」の事業費から饅頭を参加された方々と子どもたちで、収穫を終えた田んぼで食べた。労働のあとの饅頭の味は、格別だった。</p>			
(3) 脱穀			
<p>11月5日(木)に、脱穀を実施しました。地域の方から寄贈いただいた昔ながらの足踏み脱穀機も体験した。今年は、稲刈り後、天候にも恵まれ、掛け干し米が無事に収穫できた。収穫された米は、保護者の方にもみすりを依頼し、五俵あまりの収穫があった。</p>			
◎成果			
<p>米作りを通して、家庭、学校、地域が一つとなり子どもたちを見守っていこうとする気運が高まった。また、PTAや地域の方々が集まれる田植え、稲刈り、脱穀の際に、昔からあった田植え饅頭等をふるまい、労をねぎらい一緒に汗を流すことの喜びを感じることができた。</p>			
◎反省			
<p>米作りにおける田植え、稲刈り、脱穀の交流が中心となった。今後、もっと他領域の様々な活動に広げていく必要があると感じる。</p>			
3. 今後の取り組みについて			
<p>今後は、これまでの活動を引き継ぐとともに、米作りの他の作業領域(種蒔き、水の管理、除草等)の活動への児童の関与を広げていきたい。更には、交流した方々に学校に来てもらい様々な教育活動に地域の人材を生かしていきたい。</p>			
4. 要望・その他			
<p>今年度、活動後の饅頭の振る舞うことで、場が和み、労をねぎらい、交流を深めることもできた。次年度も是非、本事業を継続していただき、「親子ふれあいデー」としてご承認を頂きたい。</p>			

親子ふれあいデー活動報告書

平成27年度

単位PTA名 (宇城市立不知火小学校)

児童生徒数 (369) 人

1. 予算執行状況 (収入・支出)

(収入) 県P : 20,000円

(支出) 絵手紙代 : 2,400円
 バルーンアート代 : 1,400円
 バザー花代 : 7,500円
 その他 (釣竿等) : 9,800円
 合計 : 21,100円

2. 活動内容・成果・反省

◎活動内容

リサイクルバザーをはじめ、地域の方々に講師として招く郷土のおやつ作り、釣り竿から作る川での魚釣り、大型の絵本を使った読み聞かせ、秋を描く絵手紙、押し花を使った小物づくり、石臼できなこをひいて作る手作り団子、親子で体を動かすふれあい教室・ダンス、竹馬や水鉄砲を作る伝承遊び、ものづくりマイスターによる盆栽作りなどを行いました。

◎成果

地域の方々が講師として学校に来て頂くことにより、普段ふれあう機会が少ないおじいちゃん・おばあちゃん世代との交流機会を持てたことが素晴らしい時間となりました。その中でも地域の料理や地域の伝承遊びを後世に伝えるという点は、文化・教養の面で今後も大きな役割を果たすことになるかと思えます。核家族化が進む中で親子の世代を飛び越えたふれあいはとても有意義だったと思えます。

また、普段なかなか同じ場所で同じものを作る・踊る・学ぶといった親子関係がなかったご家庭にも、今回のふれあいがきっかけになったのではないかと思います。

◎反省

講師に来て頂く手配や必要な材料を揃えることなどの事前準備において、特定の方に負担が偏った面があるため、多くの方で分担できればよいと思いました。

3. 今後の取り組みについて

伝承遊びや郷土料理など地域の中で継承していくべきことも、指導することでより理解を深められる面もあり、教える側も教わる側も相互に不知火町の歴史や自然に触れることが出来る大切な機会になっていると感じます。

今後は、今年度の体験教室では採用できなかったたくさんの地域の遊びや歴史の話などを、多くの子ども達に知ってもらえるように継続していくことがとても大切だと思います。

4. 要望・その他

中間報告会では、不知火小学校でも取り入れていきたい他校の活動や考えを知ることが出来ました。報告会等で知ることには一定の限界があるため、他校活動の視察を行える機会があればよりよいのではないかと考えます。

このような機会を与えていただいたことに大変感謝致します。ありがとうございました。

親子ふれあいデー活動報告書

平成27年度

	単位PTA名（上天草市立中南小学校）	児童数（138人）
1	予算執行状況 （収入）県P 20,000円 （支出）芸術教室講師謝礼等 20,000円 収支 残 20,000円 - 20,000円 = 0円 領収証は、別添のとおりです。	
2	活動内容・成果・反省 ◎ 活動内容 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 平成27年度中南小学校芸術教室ピアノコンサート 「いのちの音色を響かせたい」 ピアニスト 月足さおりさん（球磨郡あさぎり町） </div> 期日：平成27年10月3日（土）9：30～11：30 場所：中南小学校 体育館 内容：ピアニスト月足さおりさんによるピアノ演奏と命のお話 ◎ 成果 （1）児童について ・全学年対象であった。すてきなピアノの音色に、本物の音楽にふれることができ、大変よかった。まじかにピアノがあり、臨場感たっぷりだった。 また、月足さんの経験から生まれる命の尊さについてのお話はすばらしかった。聞く児童の心に、「命を輝かせるということは、自分のよさを生かして生き抜いていくこと」と「努力の大切さ」、「これからの勇気」を抱くこととなった。 （2）保護者・地域について ・保護者・地域の参加者は、約40人程度であった。 ・帰りには、「来てよかったです。」「勇気をいただきました。」「素晴らしい音楽に触れることができよかったです。」と、涙ながらに帰られる保護者もいらっしゃった。 ● 反省 ・事前に、保護者・地域には、学校便り等を通して、お知らせをしていたが、当日は、保護者の参加は少なかった。毎年、内容の質が問われると思うので、今後、芸術教室の質を高めるために、講師の選定や内容を絞っていきたい。	
3	今後の取り組みについて ・成果は大きなものであったので今後も同じような芸術体験教室の取り組みを継続していく。 ・PTA会員と高学年児童を対象に、SNSの研修等にも取り組んでいきたい。	
4	要望・その他 ・要望は、ありません。 ・「教育は、児童にいいものに触れさせることが大切」と常々思っております。開催にあたり、県PTA 連合会様よりこのような力強いご支援をしてくださることに、心よりお礼を申し上げます。おかげさまで、学びの多い、すばらしい芸術教室を開催することができました。ありがとうございました。	

親子ふれあいデー活動報告書

平成27年度

単位PTA名 (天草市立本渡東小学校PTA)	児童数 (59) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県 P 20,000円 単 P 0円 その他	(支出) 20,000円 下浦ふるさと祭り 下浦さる〜く の運営費 (印刷代・カレー材料費・容器代等)
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <p>①学年活動－1年 (パン作り教室)、2年 (ピザ作り)、3年 (マラソ大会チャレンジ) 4年 (カレー作り)、5年 (親子ボウリング)、6年 (親子キャンプ)</p> <p>②東っ子マーケット (バザー) 開催 本校体育館において、PTA協力のもと全児童が接客・賞品並べ・会計・食品配膳・物品販売等を体験。保護者は食品作り等前日から1日ばかりで準備。</p> <p>③下浦ふるさと祭り出店 カレー・綿菓子・コーヒー・物品バザーを、子どもと一緒にいった。</p> <p>④下浦さる〜く (3月6日に実施予定) 下浦町の歴史や特産などを、文化懇話会の方々の話を聞きながら散策する活動。</p>	
<p>◎成果</p> <p>①学年委員を中心に企画し、学年に応じた内容でもあり、親子・学年・先生との親睦を深めることができた。</p> <p>②P数が少なく、地域の方々の物品協力も多く、前日準備等大変であるが、両親での参加も多く、親子・学校・地域と楽しみながら交流を深めることができた。</p> <p>③天候に恵まれ、大盛況であり、子どもの宣伝活動により売れ行き好調であった。</p> <p>④天候に恵まれる事を願っている。</p>	
<p>◎反省</p> <p>各活動がマンネリ化しないように、創意工夫を凝らした内容にしていくことが必要である。そのためにも確実な反省を行い、次年度に生かすことが大切。</p>	
3. 今後の取り組みについて	
<p>○どの行事も子どもたちは楽しみにしているので、継続していけるように改良・改善をしながら交流を深めていきたい。</p> <p>○小規模校のためPTAの役割も大きく、過度の負担にならないように、学校・地域と連携を図っていきたい。</p>	
4. 要望・その他	
<p>県P連のこの事業による補助金を有意義に使わせていただいている。今後とも、事業の継続を願っている。</p>	

親子ふれあいデー活動報告書

平成27年度

単位PTA名（八代市立昭和小学校）	児童生徒数（51）人
1. 予算執行状況（収入・支出）	
(収入) 県Pより 20,000 円 単Pより 519 円 <hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> 20,519 円	(支出) ふれあい活動経費 12,487 円 ふれあい給食費 8,032 円 <hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> 20,519 円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・母親による読み聞かせボランティア 今年度から、毎月第1木曜日の朝、母親による読み聞かせを実施した。市立図書館長による読み聞かせ講習会も開催した。 ・光っ子発表会、親子ふれあいタイム 地域の方とのふれあいを深めるために、光っ子発表会（学習発表会）への案内を校区の全戸に配布した。発表会終了後、親子でたくさんふれあうことができるゲームや活動を行った。 ・親子花苗植え 授業参観後に、親子で1プランターずつ花の苗植えをした。 ・祖父母とのふれあい給食 児童の祖父母を給食に招待し、4時間目の授業を見ていただいたあと、児童とふれあいながら給食を食べていただいた。 ・父ちゃん読み聞かせ 持久走大会、もちつき大会（日曜実施）の朝、父親による読み聞かせを実施した。 	
◎成果 ふれあい活動により、保護者・家族・地域と子どもたちの絆がさらに深まってきた。今年度、初めて取り組んだ「親子ふれあいタイム」では、「久しぶりに手をにぎりました」「子どもが大きくなったことを実感しました」等の感想が出され、親子の素敵な笑顔をたくさん見ることができた。また、祖父母とのふれあい給食でも、「普段見ることができない学校での孫の様子を見ることができて安心した」「ぜひ、またやってほしい」との感想が寄せられた。	
◎反省 今年度、初めて取り組んだ活動について、計画と周知が遅くなったので、来年度は年間の見通しを持って、早めの計画を心がけたい。	
3. 今後の取組について	
さらに親子・地域のふれあいを深めるために、今年度の取組を継続・発展させていきたい。	
4. 要望・その他	
今後もふれあい活動を充実させていくために、来年度も本事業を継続していただきたい。	

親子ふれあいデー活動報告書

平成27年度

単位PTA名（人吉市立西瀬小学校PTA）		児童生徒数（245）人	
1. 予算執行状況（収入・支出）			
（収入）	県P 20,000 単P 59,704 その他	（支出）	消耗品費 64,235 （門松4,660 どんどや59,575） 共益・施設使用費 10,841 燃料費（灯油・混合油）4,628
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
①門松づくり 伝統的な行事のひとつとして、毎年、学校職員と保護者、地域のボランティア団体の会員で門松を作製する。			
②どんどや 小正月の伝統的な行事「どんどや」をPTA主催で毎年実施。学校職員・PTA役員・地域住民で構成する「どんどや実行委員会」（計3回）で計画した。PTA役員・学校支援ボランティア、有志による約30名が前日に竹で組み上げて準備した。毎年「成人の日」に児童や保護者、地域住民を招待して開催し、校区の新春恒例行事として定着している。当日は、PTAの母親委員会が作るぜんざいも参加者に振る舞う。			
◎成果			
①「門松づくり」 12月13日（日）、PTA役員と学校職員、門松会（地域住民）の計約30名の参加者で実施した。校門の前に2つの見事な門松を飾ることができた。			
②「どんどや」 1月11日（月）、ことしで29回目を迎えた「どんどや」を開催することができた。児童、職員、保護者、地域住民約600名の参加があり、高さ15m幅5mの巨大やぐらを燃やし、1年間の無病息災を祈願した。親子で焼いた餅をぜんざいに入れて舌鼓、楽しいふれあいの一日となった。親子や地域のふれあいの様子は地域の新聞にも掲載された。			
◎反省			
①「門松づくり」 約30名の参加者があり、門松会（地域のボランティア団体）の方の指導・協力のもとで短時間で門松づくりができた。来年度からは、ミニ門松づくりなどで児童も参加できるような取組も考えていきたい。			
②「どんどや」 PTA役員会で、来年に備えて細かな準備物の確認が話し合われた。参加者に振る舞う「ぜんざい」は母親委員全員参加の下で午前8時から準備に取りかけられ、味も大変好評であった。			
3. 今後の取り組みについて			
○「門松づくり」も「どんどや」も、学校と保護者、地域住民が一緒に行う本校の伝統的な行事である。当日の活動の様子や成果はPTA新聞でも紹介した。来年度の「どんどや」は30回記念なので老人会や保育園等へ幅広く参加を呼びかけることが確認された。親子のふれあいや学校職員、保護者、地域住民とのふれあいの場としてさらに取組が充実するように、しっかりと引継ぎをしていきたい。			
4. 要望・その他			
○今年の「門松づくり」や「どんどや」は、親子ふれあいデー活動助成金を活用させていただいたおかげで、ゆとりをもって計画を立てることができ、取組の充実が図られた。			

親子ふれあいデー活動

平成28年2月29日発行

熊本県PTA連合会

会	長	中村 慶治
家庭教育担当副会長		野中 志真
家庭教育委員長		下田昇一郎